

# 佐伯小学校だより

【夢に向かい 未来を拓く 児童の育成】

「挨拶いっぱい」  
「力いっぱい」  
「夢いっぱい」  
令和3年度  
11月号

## 「心をそろえ、まっすぐに目標（めあて）に向かった運動会」から「実り豊かな秋」へ



（今年のスローガン）



（開会式）

## ～10月9日『勇氣 ～心を一つに～』全力で運動会～

10月9日（土）、秋晴れの良い天気  
に恵まれて、運動会を実施することが  
できました。今年のスローガンは、『勇  
気 ～心を一つに～』でした。

開会式では、各色団長が元気よく「誓  
いの言葉」を述べ、みんなの士気を高  
めました。プログラム（演技）は、ラ  
ジオ体操が終わると、低・中・高学年  
別の表現から始まりました。

1・2年生は、「It's showtime! ～み  
んなが主役～」ということで、アンパ  
ンマンのテーマ曲やパプリカなど、子  
どもたちが大好きな曲に合わせて踊っ  
たり、遊園地や花火の様子を体いっ  
ぱい表現したりしました

3・4年生は、赤白の旗を手に、「未  
来へ」というテーマで、コロナに負け  
ず、元気いっぱい未来へ向かって進ん  
でいこう！という表現を行いました。

5・6年生のテーマは「創る」。赤  
・白・青組ごとに考えられた応援パ  
フォーマンスに始まり、揃いの法被を身  
にまとうと、表情が一変しました。ソ  
ーラン節に合わせた迫力の踊りは圧巻  
でした。

一瞬を捉えたカメラ映像の、子ども  
たちの目線や手足のあげ方から、全力  
が伝わってきます。

「何？この全校児童の雰囲気は！」運動会の開会式で朝礼台に立ち、言葉を述べようと思い、全校児童を見たときに一番に感じたことです。一人ひとりの顔つきや姿勢からあふれ出る、やる気や気迫のようなものに圧倒されました。話の冒頭、思わず出た言葉が、「やるだけやった。」「自信にあふれています。」でした。開会式に並んだ児童の顔からは、『運動会を絶対成功させる』『全力でやるだけ』そんな気持ちが、目には見えませんが、ひしひしと伝わってきました。全校児童が、心をそろえ、まっすぐに目標（めあて）に向かう姿に感動しました。

そして、話の最後に児童に伝えたのは、10月9日（運動会当日）は、1学期始業式から授業日数が「100日目」の節目の日であることです。「100日間の学校での学びの成果を見せて欲しい。」「100日間分の『最高の笑顔』を見せて欲しい。」「100日間分の『最高のありがとう』を伝えて欲しい。」ことを話しました。

運動会が終わり、2週間ほどが経過しました。運動会で得た学びを学校生活で活かし、成長を感じる場面が多く見受けられます。また、「笑顔」や「ありがとう」が増えたように感じます。

いよいよ本格的な秋に突入していきます。児童が持っている良さや可能性を十分発揮できるように教職員一丸となって精一杯努めてまいります。引き続き、本校教育に対しまして、温かいご支援とご協力をよろしくお願いします。

どうか、児童にとって「喜び」や「笑顔」の多い、「実り豊かな秋」となりますように・・・。

【校長 川埜 誠】



【各色団長 誓いの言葉】



【ラジオ体操】



【1・2年表現 It's showtime!】



【3・4年表現 未来へ】



【5・6年表現 創る】



【5・6年 ソーラン節】

『縦割り班競技』は、タイトル「うちの組しか勝たん!」です。トラック4分の1ずつ、さまざまな競技に挑みました。「異学年ペアで距離を取って、楽しめる競技」ということで、6年生が考えました。途中、ボール玉を投げるといった意外な作戦が飛び出したり、順位が入れ替わったりしてハラハラドキドキしましたが、異学年で声をかけあいながら協力する姿は、なんともほほえましかったです。



【縦割り班競技】



【色別全員リレー】

最後は、低・中・高学年別の色別全校リレーが行われました。大接戦が繰り広げられ、見ごたえがあり、運動会最終種目にふさわしい展開となりました。

今年も、午前中開催でしたが、運動場でマスクを外し、懸命に走り、踊り、声を出す子どもたちに、元気と勇気もらい、感動いっぱい運動会となりました。

暑期中、最後まで温かく見守り、声援をくださったご観覧の皆様へ、感謝申し上げます。



【閉会式】

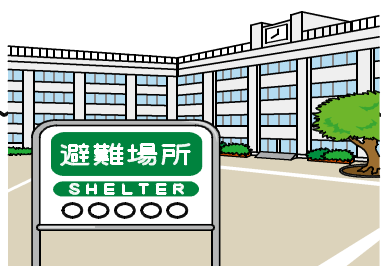
### ～教室での引き渡し訓練～



(教室での引き渡しの様子)

10月9日(土)の運動会の機会をとらえて、下校時に「引き渡し訓練」を行いました。運動場で計画していましたが、運動会後の暑さ・熱中症対策をとる観点から、急遽、教室での訓練に変更しました。(ご協力ありがとうございました。)

年度当初に、各家庭より登録していただいた電話番号と、引き取り者の名前、児童の学年・名前等を照合し、一人ずつ引き渡していきました。どのような災害が、いつ何時起こるかわかりません。災害時に学校が避難所となり、学校の教職員ではない人が対応するような事態があるかもしれません。そのような時でも安全・確実に引き渡せるよう、いろいろな緊急事態を想定して訓練を行っておくことはとても大切です。「〇〇な場合には、〇〇へ避難しよう。」「近所の〇〇さんと協力しよう。」など日ごろから子どもたちと一緒に、ご家庭や地域で話し合っておきたいものです。



学校ホームページ  
QRコード→



保護者・地域の皆さんとのより良い「つながり」の第一歩は、学校の取組や子どもたちの様子を知っていただくことと考えています。最新の情報掲載に努めています。ぜひアクセスしてみてください。

【和気町立佐伯小学校 で検索OK】アドレス→<http://saeki-es.wake.schoolweb>

### 【佐伯小PTA(総務部主催)事業より】

#### ★佐伯小学校PTA資源物回収の実施について

日時：令和3年11月7日(日)午前9時まで

※少雨決行としますが雨天延期の場合は6時20分ごろに告知放送で連絡します。延期の場合11月14日(日)

場所：佐伯小学校 他 各地区回収場所(わけ広報10月号にチラシを折り込み、周知済)

回収品：紙類(新聞紙・雑誌・段ボール・牛乳パック)・アルミ缶

※各地区の集積場所に直接出していただけるようご協力をお願いします。その後、学校が依頼したリサイクル業者が9時以降、各集積場所に行き、回収を行います。

※何か、お問い合わせ等がある場合には、各地区理事またはPTA事務局(小学校)までご連絡ください。